

「全国健康保険協会WANサービス提供業務一式」の調達仕様書(案)に対する意見の回答

全国健康保険協会
平成25年7月5日

No	本文 または別紙	ページ	章	項番	仕様書(案)の記載内容	当該記載内容に対する意見又は修正案	意見又は修正案の理由	回答
1	本文	3-3	3	3.1 図3.1システム全体概要図	4 業務委託先は、アウトソーシングを想定しており、詳細な連携仕様(外部インターフェース)等については、別途検討する。	委託事業者との外部接続回線及び、接続用機器については、本調達範囲外との理解でよろしいでしょうか。	見積・提案範囲を明確化することにより、見積精度を向上させるため。	「図3-3」に示すように委託事業者とはインターネットを介して接続する予定であるため、本調達の範囲内となります。
2	本文	3-4	3	3.1	表3-1 環境一覧>保守系統>開発・単体テスト環境 当環境は、法3-2システムの開発・単体テスト及びサービスイン後の運用・保守工程でアプリケーション保守に必要な環境である。	法3-2が何を指しているか分からないため、修正した方が良い。	参照先が不明確なため。	以下の記載を仕様書に追記します。 「なお、「法3-2」とは健康保険法第3条第2項の規定に係るシステム機能であり、協会による設計・開発を予定している。」
3	本文	3-9	3	3.3.1(1)	本部、支部については、各拠点に設置するWAN機器(MC、ルーター等)までとする。なお、別途調達するLAN・端末により設置されるスイッチからルーターへの結線作業については、受託者による作業とする。	結線作業は受託者による作業とあるが、図3-4では、結線はLAN・端末導入事業者が実施する図となっているため文章と図を合わせた方が良い。	文章と図が不整合なため。	「図3-4」に示すケーブルの色は、ケーブルの手配、敷設を指しています。また、各ケーブルの結線作業は、結線される機器側が主体となり、敷設を行った事業者立会いのもと行うことを想定しています。
4	本文	3-9	3	3.3.1(2)	上記(1)及び「3.3.2 WANサービスの稼働に係る委託作業内容」に記載のもの以外で必要となる部材(ケーブル、機器設置部品等を含む)及び必要に応じた工事(構内配線を含む)	データセンター、本部、支部、運用管理センター等の接続拠点、及び外部機関等に設置するWANサービス機器のための電源工事は、本調達の範囲内に含まれない、との理解でよろしいでしょうか。 「6.1(4)その他」において、必要な電源容量とコンセント数を申請することで、ご提供頂けるとの理解でよろしいでしょうか。	見積・提案範囲を明確化することにより、見積精度を向上させるため。	お見込みのとおりです。
5	本文	3-10	3	3.3.2	～その回線及び機器撤去に係る作業等については、作業発生が明確になった段階で協会と別途協議することとする。	作業発生が明確になった段階で、協会様と協議し、別途契約をさせていただくことができると考えてよろしいでしょうか。	見積もり範囲の明確化のため	お見込みのとおりです。
6	本文	3-10	3	2	追加	設計・テスト等実施にあたり、基盤導入事業者ほか関連業者との連携が重要とみられますが、現時点で具体的に想定されている定例会議等ございましたら記載をお願いいたします。	工数・コスト積算に影響するため	定期的な会議としては、協会への週次及び月次の作業進捗報告を想定しています。関連事業者との調整等のための会議は随時開催とします。
7	本文	3-13	3	3.4	表3-3 No.5 システム管理者向けドキュメント内の「不正アクセス監視マニュアル」について	具体的に想定されている事項がありましたらご教示願います。	コストに影響するため。 また、お互いの認識違いをなくすため。	本調達にファイアウォールを含めないこととしたため、「表3-3」No.5の「システム管理者向けドキュメント」から「不正アクセス監視マニュアル」を削除します。
8	本文	3-14	3	3.3.4(2)	表3-4 納入物品 No.1「ネットワーク機器」 内容「本調達でデータセンター、各業務拠点、外部機関等に設置するネットワーク機器(予備機を含む)。(後略)」	予備機については、システム構成上重要な部分には必ず準備するとの理解で宜しいでしょうか。 データセンターにおいて各拠点からの接続回線を集約して収容する500Mbps回線は2本をActive-Active(負荷分散)で利用されると理解しています。当該部分で稼働するルータに故障が発生した場合の影響は他に比べて大変大きいものと考えます。 当該部分が予備機が必須のポイントと認識しております。	最重要箇所における予備機器の考え方を統一することにより、見積精度を向上させるため。	お見込みのとおりです。

「全国健康保険協会WANサービス提供業務一式」の調達仕様書(案)に対する意見の回答

全国健康保険協会
平成25年7月5日

No	本文 または別紙	ページ	章	項番	仕様書(案)の記載内容	当該記載内容に対する意見又は修正案	意見又は修正案の理由	回答
9	本文	3-16	3	4(1)	・請負契約の対象 ・リース契約の対象 「3.3.1 サービスおよび物品」に記載の-	・請負契約の対象 ・リース契約の対象 ・通信役務契約の対象 「3.3.1 サービスおよび物品」に記載の「(1)回線接続サービス」	回線サービスはリース対象とはならないため	ご指摘を踏まえ、「本調達は、請負契約及びリース契約とする。」以降を以下のように修正します。 本調達は、請負契約、リース契約及び通信役務契約とする。 ・請負契約の対象 「3.3.1回線サービス及び物品」に記載の「(2)必要な部材・工事一式」及び「3.3.2WANサービスの稼働に係る委託作業内容」 ・リース契約の対象 「3.3.1回線サービス及び物品」に記載の「(1)回線接続サービス及び機器」のうち「機器」部分及び「3.3.3運用保守に係る委託作業内容」 ・通信役務契約の対象 「3.3.1回線サービス及び物品」に記載の「(1)回線接続サービス及び機器」のうち「回線接続サービス」部分
10	本文	4-1	4	4.1	1. 本調達において設置・運用される回線及び機器に関する稼働状況、セキュリティイベント、回線帯域利用状況等について、運用監視センターからリモートによる監視及び管理を行なうことが可能な構成・仕組みであること。	運用監視センターから、提供されるサービス事業者の監視環境を閲覧可能であることでしょうか？それとも、独自で監視装置を設置されるということでしょうか？	弊社ネットワークオペレーションセンターでの監視を考えております。監視装置の画面の閲覧を要望されているという認識です。	受託者のオペレーションセンター等からの監視のみとし、仕様書を修正します。
11	本文	4-1	4	4.1	特に拠点間接続用回線及びデータセンター間接続用回線に係る機器等については、倍程度への回線増強に対応可能であることが望ましい。	機器のスループットについて、アンド条件でしょうか？スループットは、パケット長はIMIX長の256Byteで選定させていただきますが、問題ないでしょうか。各システム間のデータ平均パケット長の記載があれば、選定機種に各ベンダーに差異がなくなると考えます。	メーカーでの64Byteでのスループット算出からIMIXの256Byte算出だと約4倍のパフォーマンスが出る機器を選定する。アクセス制御や他設定の負荷でスループットが落ちることとする。(経験値で約25%とする。) 監視装置側でCPUの負荷を定期的に取得した場合、約60～80%の閾値としてアラームを発報させることを考えている。そのため、弊社経験値でのIMIX256Byteでのスループットが可能な機器を選定させていただく。	ご指摘を踏まえ、仕様書を以下のとおり修正します。 「特に拠点間接続用回線及びデータセンター間接続用回線に係る機器等については、倍程度への回線増強に対応可能であることが望ましい。」 なお、スループット算出の条件として、通信は64バイト長58.33%、570バイト長33.33%、1518バイト長8.33%の割合のIMIXトラフィックを想定することが望ましい。ただし、応札者の都合で、IMIXトラフィックの提示が困難な場合は、フレーム長を固定として、256バイトでのスループットとして算出することも可とする。 また、基盤の基本設計書「6.3 ネットワーク - 6.3.2 性能・拡張性に関する個別設計」に、各回線の利用形態等が記載されているので、これらも前提としたうえで、最適な機器構成をご提案ください。
12	本文	4-1	4	4.1.4	保証帯域を設定する際、適切な余裕率を設定するとともに、帯域増減に柔軟に対応できること。	適切な余裕率の設定とは、保証する帯域以上を利用するということでしょうか？ 例えば50Mの帯域保証の回線であれば有事の際には60M程度の利用が可能にするということでしょうか？	通常は帯域保証回線は保証値以上の帯域は利用できないためです。	「別紙2」に記載している保障帯域を超えた利用は想定していません。また、この保障帯域を常に利用出来ることを要件とするため、仕様書(案)「4.1 共通要件」にある項番4を削除します。
13	本文	4-1	4章	4.1	1.(前略)運用監視センターからリモートによる監視及び管理を行なうことが可能な構成・仕組みであること。	受託者が運用監視センターを利用する場合、特段の費用(空調費・光熱費・設備利用料等)は発生しないとの認識でよろしいでしょうか。もし費用が必要な場合具体的な金額について提示をお願いします。	見積・提案範囲を明確化することにより、見積精度を向上させるため。	No10の回答にもあるように、運用監視センターからのリモート監視及び管理についての要件を削除します。

「全国健康保険協会WANサービス提供業務一式」の調達仕様書(案)に対する意見の回答

全国健康保険協会
平成25年7月5日

No	本文 または別紙	ページ	章	項番	仕様書(案)の記載内容	当該記載内容に対する意見又は修正案	意見又は修正案の理由	回答
14	本文	4-1	4	2	5本番システムを構成する二重の各IP-VPN網の利用について、通常時は両方を負分散して利用することを想定している。	5本番システムを構成する二重の各IP-VPN網の利用について、通常時は両方を負分散して利用することを想定しているため、実現方法については構成案を提案書に記載すること。	負分散実現方法については、いくつかの方法があり方法により実現できる機能が異なるため。	ご意見を踏まえて、以下のとおり仕様書を修正します。 「5本番システムを構成する二重の各IP-VPN網の利用について、通常時は両方を負分散して利用することを想定しているため、実現方法については構成案を提案書に記載すること。」
15	本文	4-2	4章	4.2	5.本番システムを構成する二重の各IP-VPN網の利用について、通常時は両方を負分散して利用することを想定している。	負分散対象となる主な通信は、一般的なクライアントサーバ通信ではなく、シンクライアント通信との理解でよろしいでしょうか。	業務・システム刷新の業務目的に適したWANサービスを提案するため。	負分散対象となる主な通信は、シンクライアント通信と帳票印刷です。
16	本文	4-2	4章	4.2	8.IP-VPN網は、東日本データセンター、西日本データセンターに帯域予約装置を設置し、各業務拠点との帯域予約制御に対応できること。(後略)	データセンター、本部、支所のWAN回線に関する帯域予約、及びシンクライアント業務に関する帯域予約を実施する場合、多階層クラス構成が必要になると考えられますが、帯域予約時の多階層クラス数はどの程度必要となる見込みでしょうか。また、IPアドレス、VLAN以外の条件設定での帯域予約は必要となりますでしょうか。	業務・システム刷新の業務目的に適したWANサービスを提案するため。	詳細は受託者決定後、関連事業者と協会と協議のうえ決定することとします。 現時点では、3階層程度のクラス階層化が必要になると想定しています。 また、クラス分類条件については、IPアドレスとVLANの他、TCP/UDPのポート番号、TOS/DSCP値での分類設定を想定しています。
17	本文	4-2	4	4.2 拠点間接続用回線8.	IP-VPN網は、東日本データセンター、西日本データセンターに帯域予約装置を設置し、各業務拠点との帯域予約制御に対応できること。	P3-4の調達範囲「図3-4」には帯域予約装置の記載がありませんが、帯域予約装置の納入、設置についても、本調達の範囲に含まれるという理解でよいでしょうか。	見積もり範囲の明確化のため	お見込みのとおりです。「図3-4」は役割分担を示すイメージ図ですので、本調達の仕様を満たすために必要なすべての機器等をご提案ください。
18	本文	4-2	4章	4.2	9.IP-VPN網は、将来的に必要となった時点で、すべての通信経路において、通信の暗号化機能を提供できる拡張性があること。ただし、初期導入時に実装する必要はない。	一般的に暗号化適用時は、暗号ヘッダが付与されるため、パケット内の利用者データサイズ(MTU)が小さくなるという制限が発生します。ご利用予定の業務アプリケーション(TCP通信、UDP通信)等において、この制限が問題ないかについて、ご確認をお願いいたします。	業務・システム刷新の業務目的に適したWANサービスを提案するため。	将来的な暗号化機能の要件に係る仕様書4.2項番9の記載を削除します。
19	本文	4-2	4	4.2 拠点間接続用回線9.	将来的に必要となった時点で、すべての通信経路において通信の暗号化機能を提供できる拡張性があること。	暗号化機能に対応する拡張性の保持までが本調達範囲で、暗号化機能の実施、実装については別途調達となるという理解でよいでしょうか。	見積もり範囲の明確化のため	No18の回答をご参照ください。
20	本文	4-2	4	4.2	9.IP-VPN網は、将来的に必要となった時点で、すべての通信経路において、通信の暗号化機能を提供できる拡張性があること。ただし、初期導入時に実装する必要はない。	機器のスループットについて、アンド条件でしょうか？ スループットは、パケット長はIMIX長の256Byteで選定させていただきますが、問題ないでしょうか。 各システム間のデータ平均パケット長の記載があれば、選定機種に各ベンダーに差異がなくなると考えます。	メーカーでの64Byteでのスループット算出からIMIXの256Byte算出だと約4倍のパフォーマンスが出る機器を選定する。 アクセス制御や他設定の負荷でスループットが落ちることとする。(経験値で約25%とする。) 監視装置側でCPUの負荷を定期的に取得した場合、約60～80%の閾値としてアラームを発報させることを考えている。そのため、弊社経験値でのIMIX256Byteでのスループットが可能な機器を選定させていただく。	No18の回答をご参照ください。
21	本文	4-2	4	4.2.4	本番システムについては、それぞれ独立した二重のネットワーク構成とすること。ここでの二重とは、バックボーンが回線・機器共に二重化された構成であり、回線の敷設経路が震災等を想定し、物理的に十分離されている、もしくは迂回路が確保されているネットワークを指す。	これは利用するIP-VPNのバックボーンの構成自体が回線・機器共に二重化されていれば本番システムとの各面で回線の経路分散を行えば1つのキャリアのバックボーンで本番システムの二面を提案して良いでしょうか？	二重化の解釈の仕方についての確認です。	1つのキャリアで仕様を満たしていれば、問題ございません。仕様を満たしていることを提案書にてお示しください。

「全国健康保険協会WANサービス提供業務一式」の調達仕様書(案)に対する意見の回答

全国健康保険協会
平成25年7月5日

No	本文 または別紙	ページ	章	項番	仕様書(案)の記載内容	当該記載内容に対する意見又は修正案	意見又は修正案の理由	回答
22	本文	4-2	4	4.2.8	帯域予約の対象となるバケット情報については、別途落札後に提示する。	機種を選定するに当たり、帯域制御装置のポリシー数の制限もありますので、各拠点向けにどのくらいのポリシーを設定するかの数値を教えてください。	双方向での制御となると、ポリシー数もInboundとOutboundの両方が必要になるためです。	詳細は受託者決定後、関連事業者と協会と協議のうえ決定することとします。 なお、参考までに現行機種におけるClass設定値はInbound、Outboundとも同数で371、合計742となっています。
23	本文	4-2	4	4.2.11	なお、データセンター側はスタティックルーティングにより、正常な網へ切替わる設定を想定している。業務拠点側も同じくスタティックルーティングを想定しているが、業務拠点側においては、より信頼性及び柔軟性に優れた構成案がある場合には、提案書に記載すること。	ダイナミックを提案した場合のLAN側ベンダーへの設定に関わるコストは、御社負担になることご了解いただきたいと思います。	データセンター側も拠点側もダイナミックルーティングによる切り替わり構成で提案させていただきます。もしくは、HSRP等を利用した構成での提案となりますが、故障ポイント次第では切り替わりが発生しない可能性もあり、WANサービス提供範囲でダイナミックルーティングプロトコルを動作させる際には、LAN側設計との調整をさせていただきます。	了解しました。LAN側の調達時に求める前提事項、機器仕様等を提案書にてお示しください。
24	本文	4-2	4	4.3.3	なお、及びについては、利用開始当初は疎通確認、基盤環境構築に必要な最低限の帯域として、一旦100Mbpsでの開通を予定している。	初めから500Mbpsでの提供でもシステムテスト上問題は発生しないでしょうか？	システムテストでは100Mbpsで実施したいという要望があればということです。 500Mで提供し、機器で100Mbpsに制御することは可能です。	システムテスト上問題は発生しませんが、「表3-2」及び「別紙1」に記載のとおり、平成26年1月から7月中旬に予定している増速までの回線コストについては、協会においては100Mbps相当の費用負担分しか見込んでおりませんので、入札価格の算定にあたってはご注意ください。
25	本文	4-2	4	4.3	2.それぞれで二重化された回線の利用について、通常時は双方を負荷分散して利用することを想定している。また、片方が通信機器障害等により利用不可の場合は、残ったもう一方にて通信するように縮退が可能であること。	データセンター間回線の負荷分散を行うためには、基盤導入業者側データセンター内スイッチとの相互接続に関する調整が必要になると想定しております。この相互接続部分において、特に必要とされる通信プロトコル、機能等の制限はありませんでしょうか。	見積提案範囲を明確化することにより、見積精度を向上させるため。	特別な制限は想定していませんが、基盤の基本設計書「2.3.3 ネットワーク全体方式設計」及び「6.3 ネットワーク」に、基盤導入事業者側のネットワーク機器等の設計が記載されているので、内容を参照し、これを前提としてご提案ください。 なお、基本設計書閲覧の方法等については別途提示します。
26	本文	4-2	4	2	8.IP-VPN網は、東日本データセンター、西日本データセンターに帯域予約装置を設置し～。	8.IP-VPN網は、東日本データセンター、西日本データセンターに帯域予約装置(現状機種: と同等以上の製品)を設置し～。	帯域予約装置も複数あるため、コスト積算、仕様の明確化のため	5年前の機種であるので、仕様書への記載は行いません。 また、参考情報として、現行の機種はPacketeer(現Blue Coat)社のPacketShaper10000です。加えて、No22の回答を参照いただき、最適な機種をご提案ください。
27	本文	4-3	4	4.4.2 レセプトオンラインシステム	1. 支払基金側で提供されているネットワークとの接続に利用するBフレツク回線を確認し、レセプトオンラインシステムとのIP-VPN接続を確保すること。	Bフレツクについては、サービスの新規申し込みが終了しているため、フレツクネクスト等のBフレツク後継サービスでの対応となると考えますが、その対応でよろしいでしょうか。	提供するサービス内容の確認のため	フレツク光ネクストとし、仕様書本文及び別紙2を修正します。
28	本文	4-3	4	4.4.2	1. 支払基金側で提供されているネットワークとの接続に利用するBフレツク回線を確認し、レセプトオンラインシステムとのIP-VPN接続を確保すること。 (詳細は支払基金ホームページ(http://www.ssk.or.jp)参照。)	IP-VPNとの接続に際して、基金・国保共同IP-VPN網への接続とし、そのアクセス回線をフレツク回線とするのでしょうか？	ホームページにある http://www.ssk.or.jp/rezept/online/index.html のオンラインシステムの概要では、IP-VPN(閉域網)との接続が、インターネット経路での接続が分からない。	IP-VPN網(閉域網)への接続とし、仕様書を修正します。
29	本文	4-3	4	4.4.3 インターネット	3. 各データセンターでの本番系統の回線は、それぞれで独立した二重のネットワーク構成とすること。ここでの二重とは、バックボーンが回線・機器共に二重化された構成であり、回線の敷設経路が震災等を想定し、物理的に十分離されている、もしくは迂回路が確保されているネットワークを指す。	独立した二重のネットワーク構成とありますが、ISPについては異なるISPを組み合わせることは想定されているでしょうか。異なるISPを組み合わせる場合、それぞれに払い出されるグローバルアドレスは異なるグローバルアドレスとなりますが、そのような前提の設計は想定されているでしょうか。	見積もり範囲の明確化のため	異なるISPの組み合わせは想定してありません。

「全国健康保険協会WANサービス提供業務一式」の調達仕様書(案)に対する意見の回答

全国健康保険協会
平成25年7月5日

No	本文 または別紙	ページ	章	項番	仕様書(案)の記載内容	当該記載内容に対する意見又は修正案	意見又は修正案の理由	回答
30	本文	4-3	4	4.4.3 インターネット	インターネット回線は、グローバルIPアドレスを新たに20個割り当ててを予定している。	グローバルIPアドレスについては、IPv4、IPv6のどちらが必要でしょうか。また、グローバルIPアドレスは東日本、西日本データセンター両方で必要となるかと思いますが、それぞれのセンターに必要なアドレス数を明記いただけますようお願いいたします。	見積もり範囲の明確化のため	グローバルアドレスは、インターネットルータ、ファイアウォール、SSL-VPN装置、DMZ各セグメントのサーバーの実アドレスとVIPのために必要と想定しています。 必要数は本番、保守各系統ごとに約20を見込んでいます。 このため、データセンターごとのグローバルアドレスの必要数は、以下の通りです。 ・東日本DC：20個 ・西日本DC：40個(本番系統、保守系統あわせ) なお、アドレス空間としては、27bitマスクが必要となります。 上記回答を踏まえ、仕様書にも追記します。
31	本文	4-3	4	4	2.インターネット回線は、グローバルIPアドレスを新たに20個割り当ててを予定している。	インターネット回線は東西に敷設するが、グローバルIPアドレスは東西それぞれに20個異なるものを割り当てるという認識でよいか。	二重化仕様の明確化のため	No30の回答をご参照ください。
32	本文	4-4	4	4.4.3	インターネット回線は、グローバルIPアドレスを新たに20個割り当ててを予定している。	この20個は、WAN接続機器(ルータ)からLAN側に20個あればよいのでしょうか？ 使い方例 1.1.1.0/27 ネットワークアドレス 1.1.1.1/27 ルータ#1 1.1.1.2/27 ルータ#2 1.1.1.3/27 ルータ#仮想IP 1.1.1.4-30/27 27ホストアドレス利用 1.1.1.4-31/27 ブロードキャストアドレス	ルータ下部にFW等を設置して、DMZ等でグローバルアドレスが必要なのか？それとも、NAT等を利用するため、左記の考えでよいのでしょうか？	ルータ下部に、基盤導入事業者によりファイアウォールが設置され、このファイアウォールでグローバルアドレスとローカルアドレスのNAT変換が行われることを想定しています。
33	本文	4-3	4.4.3	1	・インターネット回線においては、ISPにて提供されるセキュリティサービス等を活用し、セキュリティ対策を行うこと。ただし、ファイアウォール、プロキシサーバ等の設置・導入は基盤導入業者が行うため、対象外とする。	・ISPにて提供すべきセキュリティサービスのうち、必須と考えているものについては、具体的に要件を記載願います。	・ISP側で行うべきセキュリティ対策が不明確である為、提案内容がお客様想定セキュリティ対策に対して過大もしくは過小となる可能性が高いため。	ISP側で備える標準的なセキュリティ対策を想定していますので、そのように仕様書を修正します。
34	本文	4-4	4	4	1.東日本・西日本データセンターと全ての業務。インターネット回線においては、ISPにて提供されるセキュリティサービス等を活用し、セキュリティ対策を行うこと。ただし、-	1.インターネット回線においては、ISPに側で備えるサービス等を活用し、セキュリティ対策を行うこと。 については、具体的に想定しているサービスがあれば明記、もしくは標準的なISP側で備えるセキュリティ対策の明記であればその旨を追記願いたい。	コストに影響するため。 また、お互いの認識違いをなくすため。	No33の回答をご参照ください。
35	本文	4-4	4	4.5	時刻同期用一般電話回線	テレホンJJYへの接続を想定していると記載があるが、一般電話回線を提供するだけで月額料金(NTT東日本及び西の本からの通信料含めた請求額)はお見積りに含む必要がないという認識でよろしいでしょうか？	左記認識ですが、念のため質問させていただきました。(通信料は従量課金のためお見積りに含ませるのは難しいです。)	時刻同期用一般電話回線についても、入札価格に含まれます。 また、各時刻同期サーバーからの時刻ソースへの問い合わせは1日1回を想定していますので、その旨を仕様書「4.5時刻同期用一般電話回線」に追記します。
36	本文	5-1	5	2	通信ログ管理	ネットワークシステムの動作ログ、通信パケット情報等から、ネットワークにおける...について、要件を満たすにはFW等の機器が別途必要と想定されますが、その認識でよろしいでしょうか。	コストに影響するため。 また、お互いの認識違いをなくすため。	本調達にファイアウォールを含めないこととしたため、仕様書「表5-1」の項目「通信ログ管理」を削除します。

「全国健康保険協会WANサービス提供業務一式」の調達仕様書(案)に対する意見の回答

全国健康保険協会
平成25年7月5日

No	本文 または別紙	ページ	章	項番	仕様書(案)の記載内容	当該記載内容に対する意見又は修正案	意見又は修正案の理由	回答
37	本文	5-2	5	5.2 ネットワークセキュリティ 表中:ネットワーク機器における認証認可	機器における管理機能の利用者を制限するための適切な権限設定が行なえなくとも、アクセス権の割り当てを適切に設計すること。また、それを的確に管理するため、機器の認証機能における特権アカウントの払い出し、パスワードの定期的な変更等の管理・運用を適切に実施すること。	システム全体基本設計書によると、認証認可の機能を持つサーバが設置される前提での設計のように見受けられました。 ネットワーク機器における認証認可においては、認可を実施する機能がシステム基盤側で用意される前提であり、ネットワーク機器はその機能と連携して動作するという理解でよいでしょうか。	見積もり範囲の明確化のため	基盤導入事業者により設置される認証認可機能(RADIUSサーバ等)は、基盤導入事業者及びLAN・端末導入事業者により設置される機器を対象としております。本調達にて設置される機器は、応札者の仕組みでの実現を前提にご提案ください。
38	本文	5-2	5	5.2	□機器における管理機能の利用者を制限するための適切な権限設定が行なえなくとも、アクセス権の割り当てを適切に設計すること。また、それを的確に管理するため、機器の認証機能における特権アカウントの払い出し、パスワードの定期的な変更等の管理・運用を適切に実施すること。 □原則として共有ID及びスーパーユーザー(全ての管理権限を保持するようなアカウント)は利用せず、必要最低限の権限に絞ったアカウントを個人に割り当てること。	個人に割り当てるアカウントのおおよその数を教えてください。 (機器の監視及び設定変更等の運用を実施するため、設定モード及び必要な情報を取得可能な権限が必要になり、その権限を有するアカウントが必要になります。)	機器のログインのアカウント管理については、認証サーバを利用したいと考えております。認証サーバを利用した場合、パスワード変更を一括で設定可能となります。また、アカウントの追加・削除は簡易に設定可能です。ただし、認証サーバ故障時には、機器に設定しているローカルのアカウント権限でのログインになります。	本調達において設置される機器の運用は、受託者のオペレーションセンター等からの運用を想定しておりますので、応札者にて必要なアカウント数を想定してください。なお、協会の職員、あるいは今後調達を予定している運用保守等に係る事業者による操作は想定しておりませんので、追加のアカウントは不要です。
39	本文	5-2	5.3	表5-3	・セキュリティ監査 ・セキュリティ監査において改善の必要性が指摘された場合には、受注者の負担と責任において迅速に対応すること。	受注者の負担額が算出できないため、費用については別途契約とさせていただきます。	・セキュリティ監査内容は年々進化しており、現時点では提供期間中にどのような新たな脆弱性が発生するかの想定が出来ず、それに対応する費用負担額が算出できない為。	協会独自の要件ではなく、総務省が制定している「情報通信ネットワーク安全・信頼性基準」の「別表第2 管理基準」にある「5 情報セキュリティ管理」-(3) 情報セキュリティ監査の実施、にあるような電気通信事業者としての対応を求めますので、ご対応をお願いします。
40	本文	6-1	6	1	追加	関連業者等含め各設置場所での作業・調整が数多く発生すると認識しておりますが、各工事・日程調整等については、本部一括窓口であるか、現地窓口であるか、それとも別窓口等になるのか記載願いたい。	工数・コスト積算に影響するため	以下を追記します。 「また、原則として、現地調査などの日程調整等については、協会本部が一括して行う予定である。ただし、個別の詳細な調整事項については、現地で関連事業者を交えた調整を行うなど、支部と受託者が直接連携することが相応しい場合は別途協会と協議すること。」
41	本文	6-2	6	(3) データセンター設備等条件	また、光回線ケーブルを保護する配管の敷設工事は、データセンター側で実施するため、協会にて別途調達の予定であり、撤去工事も同様である。	データセンターについては配管工事は範囲外と明記されていますが、データセンター以外の拠点(支部や運用センター)でも同様な工事が発生する可能性があると考えます。データセンター以外の拠点で発生した、配管などの付帯工事については本調達範囲に含まれるという理解でよいでしょうか。	見積もり範囲の明確化のため	お見込みのとおりです。
42	本文	6-2	6	6.2 (4)	運用監視センターについては、瞬電、電源電圧の安定化のため、調達する機器(ルーター等)に対応する無停電電源装置(UPS)を設置すること。	記載通りと認識しております。 UPSの冗長化(2台)要望を記載することも必要です。	UPSはバッテリーのメンテナンス等もありませんので、冗長化は当然かと思いました。	ご指摘を踏まえ、以下のとおり追記します。 「なお、UPSのバッテリー交換等の保守作業においても、ネットワーク機器が継続して利用可能な構成あるいは機能(メンテナンスバイパス回路、バッテリーホットスワップ等)を備えること。」
43	本文	6-2	6	6.2 (4)	運用監視センター、東日本・西日本データセンターに設置する機器を収容するラック本体、付帯設備(耐震用の金具等)及び設置については本調達の範囲内とする。	左記載載だと、耐震は必要ないという認識でよろしいでしょうか? 耐震する架台は必要でしょうか? 架台は用意されており、提供させていただくラックの仕様を示せば、その架台と接続する穴は空けていただくと考えてよろしいでしょうか? また、二重床の加工も必要ないという認識でよろしいでしょうか?	建業法に関する準備をするためです。	どの拠点においても、耐震対策としてラック本体の床への固定が必要です。ただし、架台は不要で、床への穴あけ作業はデータセンター事業者またはビルオーナー(運用監視センターの場合)が実施します。また、二重床については、東日本DCは、重量が500kg以下であれば不要となり、西日本DCおよび運用監視センターは、床補強は不要となります。

「全国健康保険協会WANサービス提供業務一式」の調達仕様書(案)に対する意見の回答

全国健康保険協会
平成25年7月5日

No	本文 または別紙	ページ	章	項番	仕様書(案)の記載内容	当該記載内容に対する意見又は修正案	意見又は修正案の理由	回答
44	本文	6-2	6	6.2(3) (ア) 及び6.2(3) (ア)	なお、受託者提供のPD盤(分岐配線盤)は新規設置を条件とする。	PD盤を新規設置した場合、2013年10月～12月(3ヵ月)のデータセンターへの回線敷設が困難な場合が想定される。既設のPD盤を利用することを可とし、利用不可の場合は新設する条件に緩和した方がよい。	必須条件とするには厳しい条件と考えられるため。	PD盤がネットワーク回線事業者の資産であることと、現在の設置場所が本システムサービスイン後も継続利用可能かどうかデータセンターの設備運営に依存するものであることから、既存PD盤の流用可否については、受託者とデータセンター事業者同士での協議が必要となります。このため、今回は新規設置を前提としています。
45	本文	6-2	6	6.2(4)	(前略)42Uの19インチラック1台づつの設置とする。	機器構成が19インチラック1台に収まらない場合、2台以上とすることは可能でしょうか。	機器構成策定における必要情報であるため。	原則として1台とします。
46	本文	7-1	7	7.1 7.3	(2) ネットワーク回線及び各種サービスの提供時間 ネットワークシステムで利用する機器のMTTRは、データセンター、運用監視センター及び協会本部においては2時間以内、協会支部においては4時間以内とする。	社会保険オンラインシステム側の接続回線及びそれを構成する機器についての保守・運用条件を教えてください。	センターと同等でしょうか、拠点と同等でしょうか。	センターと同等とするよう、仕様書を修正します。
47	本文	7-2	7	7.2 通信回線に関する項目	ネットワーク稼働率は、99.95%とする。 ネットワーク稼働率は、稼働予定時間に対して実際に稼働した時間(稼働時間)の割合であり、以下の式より算出する。 「ネットワーク稼働率(%) = (1 - 1ヶ月の停止時間の合計 ÷ 1ヶ月の稼働予定時間) × 100;	ネットワーク稼働率について、99.95%の数値は、全対象箇所 の平均値として満たすべき数値という理解でよいでしょうか。	要件を明らかにするため	ネットワーク稼働率は、「別紙2」に記載している回線の拠点ごととし、仕様書を修正します。
48	本文	7-2	7	7.2	(1) ネットワーク稼働率は99.95%とする。	アクセス回線毎の稼働率SLAは必要ないのでしょうか？	NW全体ではなく回線単体での稼働率を設定した方がよいと思われるためです。	No47の回答をご参照ください。
49	本文	8-1	8	8.2 運用・保守要件	運用保守作業の実施後は、協会による完了確認を行うため、必要な支援を行うこと。	左記載のある「必要な支援」につきまして、具体的な支援作業を明示いただけますようお願いいたします。	見積もり範囲の明確化のため	ご意見を踏まえ、仕様書を以下のとおり修正します。 「運用保守作業の実施後は、協会による完了確認を行うため、書面による作業内容及び結果の報告、必要に応じて対面での説明を実施すること。」
50	本文	8-2	8	(3) 監視要件	各種の監視項目をリモート監視が可能な仕組みとし、～	各種の監視項目をリモート監視が可能な仕組みについて、何か想定している方式があれば明記いただけますようお願いいたします。	要件を明らかにするため	受託者のオペレーションセンター等からの監視のみとし、仕様書を修正します。なお、方式については特に指定しません。
51	本文	8-2	8	2	(3) 運用監視センターに障害が発生した場合でも、東日本及び西日本データセンターから継続的な運用監視ができる仕組みとすること。	運用監視センターに障害が発生した場合でも、東日本及び西日本データセンターなどから継続的な運用監視ができる仕組みとすること。	コストに影響するため、また、お互いの認識違いをなくすため。	受託者のオペレーションセンター等からの監視のみとし、仕様書(案)「8.2 運用・保守要件」(3) 監視要件」の の該当箇所を削除します。
52	本文	8-4 9-1	8章 9章	8.3(2) 9.1(1)	図8-1 運用・保守に係る作業分担 図9-1 本システムにおける作業体制図	図8-1には「運用保守支援事業者」及び「LAN・端末等運用・保守事業者」の記述がありますが、図9-1には存在しません。記載内容について確認をお願いいたします。また、基盤等保守事業者の「等」は具体的に何を指しますでしょうか？	関係する事業者を正確に把握し、見積精度を向上させるため。	「図9-1」はサービスインまでに関わるすべての事業者を示し、「図8-1」はサービスイン後に関わる事業者を示しています。「図8-1」にある「運用保守支援事業者」及び「LAN・端末等運用・保守事業者」については今後検討し、調達する予定です。また、「基盤等保守事業者」の対象範囲についても今後検討し調達する予定です。これらの状況を「図8-1」の注釈等に記載します。

「全国健康保険協会WANサービス提供業務一式」の調達仕様書(案)に対する意見の回答

全国健康保険協会
平成25年7月5日

No	本文 または別紙	ページ	章	項番	仕様書(案)の記載内容	当該記載内容に対する意見又は修正案	意見又は修正案の理由	回答
53	本文	9-2	9.2		・システム開発等の情報処理業務の経験年数が10年以上であり、かつ、複数の大規模システム導入経験を有する者であること。	・本調達と同様のWANサービスの構築経験年数が5年以上であり、かつ、複数の大規模システム導入経験を有する者であること。	・本調達はWANサービスの調達であり、システム開発等の情報処理業務ではない。	ご指摘を踏まえ、仕様書を以下のとおり修正します。 「本調達と同等あるいはこれ以上の規模のWANサービスの設計・構築及び運用経験年数が5年以上であり、かつ、複数のWANサービス導入経験を有する者であること。」
54	本文	9-2	9.3		・業務要員は、原則として専任とすること。	削除願います。	・本調達内容から考えて、業務要員全員に求める要件としては、過剰と考えられるため。	ご指摘を踏まえ、仕様書を以下のとおり修正します。 「主要な業務に係る要員は、原則として専任とすること。」
55	本文	9-2	9.3		、特にEA(Enterprise Architecture)に関する知識及び実務経験、「業務・システム最適指針(ガイドライン)」に関する知識を有すること。	下記に記載変更をお願いします。 、特にEA(Enterprise Architecture)に関する知識及び実務経験、「業務・システム最適指針(ガイドライン)」に関する知識を含むこと。	・本調達内容から考えて、業務要員全員に求める要件としては、過剰と考えられるため。	ご指摘を踏まえ、仕様書を以下のとおり修正します。 「電子政府実現に向けて必要とされるシステム全般に関する知識、特にEA(Enterprise Architecture)に関する知識、特にEA(Enterprise Architecture)に関する知識及び実務経験、「業務・システム最適化指針(ガイドライン)」に関する知識を有する者を含むこと。」
56	別紙	2-2			別紙2-2.WAN基礎情報一覧表.pdf 64.65 WAN回線サービス表記は「広域イーサネット、IP-VPNなど」	64.65 WAN回線サービス表記は「インターネット」に修正		ご指摘のとおり、仕様書を修正します。
57	別紙2-2	3	-	62, 63, 75	WANサービス : FLETS網 WNA保障帯域 : 100Mbps	WANサービス : FLETS網 WNA保障帯域 : -	FLETS網にて帯域を保証する事は出来ない為。	以下のとおり、仕様書を修正します。 WANサービス : フレッツ光ネクスト WAN保障帯域 : -
58	-	基本設計書	-	-	-	システム全体基本設計書によると、ネットワークにもとめられる性能要件があるように見受けられました。本調達の範囲となるルータ等のネットワーク機器に関して、満たすべき機能要件(スループットや実装プロトコル等)があれば、仕様書に明記いただけますようお願いいたします。	要件を明らかにするため	「別紙2」に記載している保障帯域と、「4 WANサービス要件」に記載の拡張性等の要件を満たすようご提案ください。 また、基盤の基本設計書「2.3.3 ネットワーク全体方式設計」及び「6.3 ネットワーク」に、基盤導入事業者側のネットワーク機器等の設計が記載されているので、内容を参照し、これを前提としてご提案ください。 なお、基本設計書閲覧の方法等については、入札公告時に提示します。